

大森山アートプロジェクト 2025

企画広報担当 主席主査 金 大咲

大森山動物園と秋田公立美術大学が連携し、アートによるにぎわい創出を目指す「大森山アートプロジェクト」。今回は、株式会社川本第一製作所様から企業版ふるさと納税によるご支援をいただき、次の2作品を制作しました。

1 壁画「思い出に残るシンリンオオカミたち」

壁画パネルは、飼育員からの「これまで大森山で飼育してきた個性豊かなシンリンオオカミたちを描いてほしい。」という希望を受けて、秋田公立美術大学附属高等学院の生徒6名が共作しました。長年にわたり当園の人気動物であったシンリンオオカミの系譜を、懐かしく振り返ることができるスポットとなりました。



オオカミ展示場近くに設置された壁画パネル



ミッドナイト(オス)とサラ(メス)



ハチ(メス)とキララ(メス)



シン(オス)とジュディ(メス)

2 ミルヴェ館案内看板制作

屋内イベントの開催や、休憩スペースとしてもご利用いただいているミルヴェ館(管理事務所・研修ホール)については、以前から「場所が分かりにくい」という声が寄せられおり、この度、新たな目印を制作しました。大きなオモリンのイラストと立体的に浮き出た「ミルヴェ館」の文字で、遠く離れた場所からでも見つけやすくなりました。



オモリンを中心に動物たちがデザインされた案内板



入園ゲートからも見えるようになりました

イベント

レポート

Event report

秋の動物 ふれあいフェスティバル

(10月5日)

恒例の「どうぶつパレード」では、ポニーやペンギン、ワシミズクなど11種の動物が来園者の目の前を行進し、その様子に皆さん夢中の様子でした。「アニマル応援隊 ☆食欲の秋」では、ゾウやワオキツネザルなどの食事の工夫についての体験学習を行いました。



ハロウィンの装いでお客さまの近くをパレード



ゾウが好む枝葉を実際に刈り取って花子にプレゼント



どうぶつサイエンスⅡ ～身近な自然から学ぼう～

(10月18日)

この教育プログラムは、自然科学学習館との共催で開催しています。午前には、グリーン広場でイモムシの好物の木の葉を観察し、生き物と木の関わりを学んだ後、虫や植物を観察して自然マップを作成しました。午後は、生き物の痕跡を手がかりに推理クイズを行いました。



大森山公園を散策しながらの自然観察



みんなのスケッチをもとに自然マップが完成!



ご支援ありがとうございました

秋田市大森山動物園応援会様からは、毎年、物心両面からの応援とご支援をいただいております。同会の2025年の活動をご紹介します。

5月30日 ビジターセンター動物園エリアに新しいデザインの募金箱を設置しました。

8月6日 「竿燈まつり市民パレード」に参加し、大森山動物園をPRしました。

10月24日 第4駐車場付近の丁字路に設置された「オモリン看板」の補修をご支援いただきました。



新しいデザインは人気のレッサーパンダ（ビジターセンター動物園エリア）



美大生も加わった竿燈まつり市民パレード



動物園の案内役「オモリン看板」がピカピカにリニューアル！

さよなら感謝祭

(11月30日)

昨シーズンの閉園イベントとして、皆さまへの感謝を込めて開催。セレモニーには沼谷市長をはじめ多くの方々にも出席いただき、今年亡くなった動物の慰霊を行いました。また、特別イベントとして、無料のエサやり体験や動物との記念撮影などを行いました。



感謝祭セレモニーでの献花



動物たちとの記念撮影

雪の動物園

(1月4日～2月28日の土日祝日)

20回目の開催を記念して、雪の動物園歴代ポスター展示を実施しました。また、開催日には、カピバラの湯っこやトナカイ・ポニーのおさんぽタイムなどの特別イベントを中心に、冬の動物たちの様子をご覧いただきました。また、大森山ゆうえんちアニパでは、暖房付き観覧車の運転を1月と2月の3連休限定で行いました。



大人気のおさんぽタイム



20回目を記念した歴代ポスターの展示



今後のイベント (予定)

●3月20日(金)～11月30日(月)

「2026年通常開園」※期間中無休